



私たちの 町議会びらとり



作：^{えんどう}遠藤 ^{みつえ}光江 氏
荷負在住
(パステル)

予算審査特別委員会報告	P 2
ここが聞きたい一般質問	P 4
委員会報告	P 8
審議した議案	P 11
議会の仕組み	P 11
あの人に聞く	P 12

vol. 123 2025.4.25

令和7年度 予算総額 104億3,385万円

～令和7年度各会計予算審議の一部についてお知らせいたします～

令和7年度各会計予算額

会計名	令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	前年度 対比伸率
一般会計	74億5,300万円	67億800万円	11.1%
特別会計	29億8,085万円	29億3,791万円	1.5%
国民健康保険 特別会計	7億2,940万円	7億4,180万円	△1.7%
後期高齢者医療 特別会計	1億2,220万円	1億90万円	21.1%
介護保険特別会計	5億7,500万円	5億5,970万円	2.7%
国民健康保険病院 特別会計	10億8,500万円	10億7,050万円	1.4%
簡易水道事業会計	4億6,925万円	4億6,501万円	0.9%
合計	104億3,385万円	96億4,591万円	8.2%

令和7年度第3回定例会で、令和7年度一般会計予算及び4特別会計予算、1事業会計予算の原案が議会に提出されました。これを受け「予算審査特別委員会」を設置し、3月11日から13日の3日間、10時間52分に及び審査を行いました。

予算審査特別委員会

委員長…井澤委員

副委員長…中川委員

予算審査特別委員会の審議における主な質問事項は以下のとおりです。

Q 町民が他町へふるさと納税することによって町内から町外へ流出している税金の額は。
(崎廣)

A 令和5年に町民税が流出したに相当する額は、190名で644万3362円になります。

Q 年々斎場使用料収入が減っている。斎場の広域化を平取、日高、むかわの3町で考えてはどうか。
(中川)

A 各町とも斎場老朽化の問題があります。事務レベルの検討と合わせて、町長レベルでも今後協議していきます。

Q 勤怠管理システムが計上されているが、650万円かけてタイムカードをこのシステムに変える理由は。
(松澤)

A 労働基準監督署から入退室時

間を把握し労働管理を強化するよう指導がありました。現在の方法では把握しきれないため、ICチップ入りのカードと静脈認証による方法で管理をします。更には今まで手計算だった時間外勤務手当の集計にも活用でき、事務量を大きく減らすことができます。



△タイムカード

Q 自治会総合交付金が減となった要因は。
(木村)

A 防犯灯LED化の改修事業を町民課の予算で組んだ事によるものです。

Q 公営の町営住宅には以前から除雪費は付いていないが、単身者住宅除雪委託料を新たに計上しているのはなぜか。
(中川)

A この度単身者住宅の管理人を置かなくなるので、管理人が行っていた環境整備を民間に委託し、その分を住宅料に上乗せし対応するものです。

Q 旧温泉施設や貴氣別中学校などの町有建物の解体について、計画性をもって解体に踏み込む時期だと思いが、どのように考えているのか。
(千葉)

A 使用していない建物は劣化が早く、ましてや大きな構造物であり、後々まで残していくのは良くないと考えます。財源を含めて今後庁内で協議していきたいと思います。



△旧びらとり温泉

Q 防災対策費が十分な予算付けになっていないように思う。町の考え方を伺う。
(四戸)

A 避難訓練や防災訓練等実施し、他町への後方支援の考え方やタイムライン防災も取り入れながら、必要に応じて議会にもお諮りしながら進めていきます。

Q 空き家等相談事務所を新たに設置するところがあるが、現在の空き家状況について伺う。また事務所での業務内容は。
(高山)

A 現在空き家台帳に載っているのが250〜300軒弱です。地域おこし協力隊1名を配置し、本町の空き住宅を相談事務所にし、空き家バンク登録への働きかけや物件相談、移住定住相談、台帳管理と継続した空き家調査を行います。将来この拠点が、地域おこし協力隊等のコワーキングスペースとなるなどの整備ができればと思っています。

Q 町民にとって温泉無料入浴券と入浴料100円は大変ありがたいサービスだと思うが、現在の町財政の状況では継続に無理はないのか。
(千葉)

A 温泉側もかなり苦勞されていると思います。サービス利用者は毎年600人ぐらいなので、引き続き継続したいと考えますが、町の財政状況もあり、今後色々と検討させていただきたいと思っています。



▷券売機(温泉内)

Q 浄化槽設置整備事業補助金の対象を合併浄化槽の改修に拡大できないか。
(崎廣)

A 国の交付金を活用しているのが財源の問題もありますが、検討していきます。

Q 平取観光案内所の設置について、町の考え方を伺う。
(金谷)

A 以前から検討はしていますが、結果的に拠点を持つに至っていません。費用や体制など、どの形が一番効果的なのか早急に議論していきたいと思っています。

※このほかにも多くの意見、質疑があり活発な議論となりました。この委員会の会議録は平取町ホームページに掲載していますので、詳しくはこちらをご覧ください。

審査の結果、委員会としてはいずれの予算案も「原案可決」とすべきと決定しました。

議会本会議での委員長報告では、次の意見を付しました。

令和7年度予算は過去最高となる総額104億3000万円を超える規模となっている。義務的経費が増加しており、公債費は9億円を超えている。基金残高は年々減少しており、財源不足を基金に頼る令和7年度のような予算編成はこの先難しくなると思われる。総合計画に則りつつも、実情や実態を捉え、スクラップアンドビルドの考え方を念頭に、事業の見直しや縮小、場合によっては廃止するなどの確に判断し、持続可能となる財政運営を全職員が意識して、効果的で効率的な予算執行に向け取り組まれることを期待する。

※義務的経費…支出が法律や政令で義務付けられており、縮減できない性質の経費。人件費(議員報酬、職員給与など)、扶助費(生活保護費、児童福祉費、老人福祉費など)、公債費など。

ここが聞きたい一般質問

※この文章は一般質問した議員本人が要約し、作成しております。
質疑応答の全文は平取町ホームページの平取町議会会議録をご覧ください。



まつざわ いく子
松澤以久子 議員

大地連携・学生のアイデアを活かすには

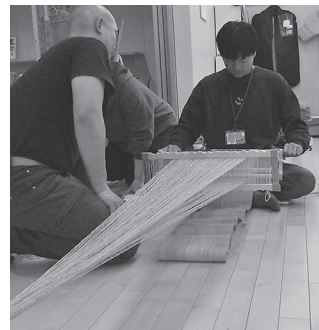
問 平成25年度から大学と地域の連携事業として「大地連携ワークショップ」を実施していますが、毎年若者の豊かな発想や俯瞰的な視点での意見、アイデア文化の魅力をいか

に活かせるかの発表報告をしています。学生さんたちの発想にはアイデア文化、二風谷に限らず平取町全体に関わる事業にも良いアイデアがあります。この事業を最大限活かすために発表・報告が終わった後に、行政全体で検証する仕組みを構築してはいかがか。

答 (アイヌ施策推進課長)

今現在、庁舎内でアイヌ総合政策推進基本計画プロジェクトチーム

会議という役場職員の会議がありま
すので、その中で学生の提案を会議
に諮り、実施に向けた検討を進めて
いきます。



△アットゥシ織体験の様子

問 プロジェクト会議の中で、よい案件が出た場合、「びらとり協働のまちづくり事業」の対象として繋ぐことはできないのか。また案件により行政提案型のテーマとすることはできないのか。

答 (まちづくり課長)

大地連携ワークショップで学生たちから出るアイデアは、地域振興に資するものが多く補助要件に合っています。町内に活動拠点があり、主要な活動を町内で行っている住民団体が対象の補助金ですので、直接の申請は難しいと考えます。た

だし、条件を満たしている地域住民の方が賛同し取り組みたいとなれば、審議会に諮り実現の可能性はあると思います。行政提案型のテーマとする事については、大地連携ワークショップの中で協働のまちづくり事業を理解していただき、学生が考え提案いただくことは可能です。



△最終発表会の様子

指定地域 共同活動団体制度

問 人口減少や少子高齢化が進行し、全国どの地域も生活サービスが低下しています。

地域課題解決のため、今後、地域の実情にに応じて、地域社会の多様な主体が参画し連携・協働する

枠組み（プラットフォーム）を市町村が構築し、その活動を支える取り組みが重要です。それを受けて、令和6年の地方自治法一部改正により「指定地域共同活動団体制度」が創設されました。この制度に対し、町のこれからの取り組みに関して伺います。

答 (まちづくり課長)

この制度の前に、地縁に基づき形成された団体が法人格を有する「認可地縁団体制度」があり、自治会などが認可を受けることで財産を団体名義で所有・借用できるなど活動の幅が広がる内容でした。自治会のような任意団体が、地域においては9割以上を占めています。これも活動が厳しい状況なので、様々な団体を横でつなぎ、しっかりと指定をして活動を手伝っていただきたいというのがこの制度の趣旨だと思います。こういったことを手伝ってもらおうかというのは、地域の実情に応じて条例を作るといのが条件となっています。この活動を進めていくことに

については、地方交付税措置が措置率0.5で行われることも見えてきましたので、これから横断的に、町内で協議をするところから始めていきます。

問 地域の活動主体が指定地域共同活動団体となるために必要な組織形成への支援に関する経費、指定地域共同活動団体の活動への支援等に要する経費について、既存の地域運営組織の設立・運営に関する特別交付税措置と同様の措置を講じることですが、集落支援員の運用を頭にいれながら地域課題の問題解決に取り組む新たな団体を作って、活動環境を整備してはと思いますがいかがか。

答 (まちづくり課長)

自治会と既存の支援団体が一緒になって地域共同活動団体の指定を取りたいという流れがこの事業の趣旨かと思えます。既存の組織に集落支援員がその中に入ることは検討できると思いますが、新たな団体を作る事に関しては、まずは地域組織団体をしっかりと形成していくプラットフォームづくりを協議していき、本来に新しい組織、枠組みが必要だと

いうことであれば検討していくべきと考えます。

指定地域共同活動団体

以下の内容を市町村が条例で具体化

【指定対象】

- ・「区域の住民」又は「区域の住民を主たる構成員とする団体」を主たる構成員とする団体

【指定要件】

- ・地域において住民が日常生活を営むために必要な環境の持続的な確保に資する活動を行う
- ・地域の多様な主体との連携等により効率的・効果的に活動を行う
- ・民主的で透明性の高い運営その他適正な運営の確保 等



かなや みつる
金谷 満
議員

平取町鳥獣被害防止計画の 今後の取り組みについて

問 全国的にヒグマやシカによる被害が過去最高にのぼっており、特に、農作物被害が目立っています。

ヒグマの生息数が増えて人里に出没するケースも増え、人身被害が急増しています。幸いに平取町内では人

身被害はないものの、市街地付近に出没している状況であり、猟友会とどのような対策をしているのか伺います。

答 (町民課長)

猟友会には、ヒグマ対策においては重要な役割を担っていただいております。最近では市街地付近への出没も増加傾向になっており、猟友会と連携をとり、ヒグマ出没情報を共有するとともに、課題や対策について専門的な知識をいただきながら、対応を協議しています。

問 農業団体の意見や課題を、どの様に反映し対策しているのか。

答 (町民課長)

平取、日高、新冠の3町で構成する日高西部鳥獣被害防止対策広域協議会に、農業委員会、農協も会員となっており、その会議の場で農業被害等の報告や意見などを聞くことができます。

問 ハンターへの助成制度の現状と担い手確保に向けた対策は。

答 (町民課長)

特にハンターの高齢化が進み、担い手の確保が急務であり、町では新

規狩猟免許取得後に猟友会に所属し活動に従事できる方を対象に、取得にかかる経費の一部を補助しております。また今まで継続的に有害鳥獣捕獲活動をして頂いている方にも経費の一部補助があります。

今後、若年層を中心とした新規ハンターの育成と狩猟活動への参加促進を図り、担い手不足解消に繋がっていくと考えております。

問 環境省は、人の日常生活圏に出没したクマについて、安全性の確保など一定の条件下で緊急銃猟を認める改正案を提出し、閣議決定されました。それに向けての考えについて伺います。

答 (町民課長)

今後、ガイドラインやマニュアル、財源等詳しい通知があり次第、猟友会や警察等の関係機関と協議し、対応していきたいと考えております。

～主な猟銃の種類～



△散弾銃（上下2連式）



△散弾銃（自動装填）



△ライフル銃



さきひろ 崎廣
ひでき 樹
議員

DXの推進による 行政改革について

問 令和7年度予算にペーパーレス会議システム等で3000万円程度の予算が計上されているが、効果について伺う。

答 (総務課長)

用紙代や印刷費で年間500万円、更に時間外勤務の削減で920万円、毎年1420万円の削減効果が継続します。それ以外に書庫の整備費用が縮減されます。

問 経理を含めて起案文書など全て電子決裁を導入するのはいかがでしょうか。

答 (総務課長)

財務会計システムでは令和7年度に伝票関係の電子決裁を行える仕組みを導入します。文書の電子決裁は令和8年度に導入します。

問 公式LINEシステムの導入に550万円予算が計上されている

が、内容について伺う。

答 (総務課長)

公式LINEシステムは基本的にはホームページの情報にたどり着く速さがメリットです。住民へのアンケート、電子申請という機能も加えた公式LINEシステムは非常に有効であると考えています。

問 電子決裁で毎年紙の書類が減少すると保管するキャビネットが不要になる。その事を頭に置きながら庁舎の整備事業を検討できないか。DX推進事業を進めるにあたり、先進地や有識者の情報を多く集めて庁舎建て替えの基本構想など総合計画とも整合性を図りながら、自治体間の水平連携・垂直連携を愚直に実行することが大事と考えるが、町長の考えを伺う。

答 (町長)

令和7年度予算で7000万円近いDX予算を組んでいます。特定財源はありますが、今後メンテナンス費用、維持経費が相当増大する懸念もあります。しかしDXではかの予算を削減できる可能性も出てくると思います。独自のDXをどう進めるかは今後更に検討が必要だと思いま

す。現時点ではアナログとデジタルの良い塩梅の進め方を考えながら進めていきます。庁舎の建て替え等についても、DXの効果を最大限にしながら進めていくというのが重要だと思っています。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）＝デジタル活用による改革

執行方針について

問 町政執行方針で「経常経費の節減、投資的経費での適切な選択で適正規模の財政運営を行う」と発言

しているが、74億5300万円の一般会計予算が適正規模なのか伺う。

答 (町長)

当初予算編成については、総合計画10か年の事業実施計画を3年ごとにローリングして予算を編成しています。予算規模としては当町の今の財政の体力を勘案し、適正規模という認識で議会に提案をしています。

問 令和7年度予算は前年度対比11%伸びているが要因はなにか伺う。

答 (町長)

義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が伸びています。投資的経費

ではアイヌ政策推進交付金のフォーラム等もありますが、システム標準化や、地域おこし協力隊の増員で大きな伸びになっており、総体的に燃油はじめ工事請負費も全体的な伸びを示していることが要因です。

問 自治体間水平連携で事業の共同化により財政負担を軽減することを以前町長と議論したが、私は具体にもう一歩踏み込む時期だと思う。時代は「競争から共生」の時代と考えるがいかがか伺う。

答 (町長)

広域連携は必須になると思っています。公共施設や事務事業なども、例えばDXも単独の自治体ではなく広域で行うことでの効率性が期待できます。日高町村会なり、隣町との連携など、具体的な行動を起こし取り組んでいければと思います。

問 教育行政執行方針で「働き方改革の推進」というのが表題から無くなったが、教員の時間外勤務の課題などまだ多くの課題があると思うが、教育長の考えを伺う。

答 (教育長)

働き方改革については、学校行事と校務内容の見直し、校務支援シス

テムの導入を始め校内DX化の推進、部活動時間の見直しなどを推し進め、一定程度の成果があったと考え今回文言を省きました。

「令和7年度町政執行方針」及び「令和7年度教育行政執行方針」の全文は広報びらとり（令和7年3月号）に掲載されています。



ひこ 彦 議員
むら 木村

道道平取静内線について

問 道道平取静内線貫気別地区の改修工事が中断して年数が経っておりますが、町の執行方針の中にあったようにやらなければならない工事だと思えます。現在どのような状況になっているのか伺います。

答 （町長）
道道平取静内線の平取町全体の整

備については、早い時期から要望を重ねており、特に貫気別市街地間の貫気別橋についてはカーブになっており事故などが懸念され、現に事故も発生しており地元からも強い架け換え要望があった箇所でもあるため、以前から力を入れてきた経緯があります。しかし、用地処理に課題を残し10年ほど前にこの工事は現在完了した状況になっています。その後毎年、優先順位を最も高いランクとして室蘭建設管理部に要望書を提出しているところです。

現在の状況は、直近では令和7年2月19日に社会資本整備推進会議が開催され、本要望に対する進捗状況が共有されました。建設管理部は、地権者との協議については大きく進んだものの、事業が概算で10億円以上となることから、大規模事業評価が必要であると捉えています。その間にも最低限の修繕を行う必要がありますが、現段階では令和9年度着手が最短との見解が示されています。

今後も引き続き強固に要望をしていく考えです。



△カーブしている貫気別橋

ヒグマ駆除報酬について

問 ヒグマ駆除の新しい交付金で、道内15市町村が新たに交付金を使いクマ駆除の報酬に上乗せするということが新聞報道にありました。平取町としては、この交付金を使っているのか、これからやろうとしているのか伺います。

答 （町民課長）

この交付金につきましては条件があり、実施体制の整備、生息状況調査等、クマの捕獲、生息環境管理、この4つが必須とされております。生息状況調査はクマに発信機を付ける等モニタリングをして、クマの行動と生息を調べるといった形になります。生息環境管理とはクマと人と暮らすところ、境界を分けること

でゾーニングという形になります。クマの主に生息する地区、そして人がいる農地と、その真ん中に緩衝地域という形で中間地域を設ける形になっております。市町村ごとに住み分けの再構築が必須ですが、当町は農業区域が広大でありヒグマとの住み分けを図るためのゾーニング管理が難しい状況であります。ヒグマの駆除報酬につきましては現行の予算と事業運営の中で検討する事項です。昨今のクマが市街地にも出没している状況を鑑みると、現行の報酬3万円では満足な額ではなく、実際ハンターが危険を冒して対応していることもありますので、今後についても再検討が必要だと考えております。猟友会とも更に協議し、交付金活用については今後も検討させていただきたいと考えております。



△捕獲されたヒグマ

総務文教常任委員会

2月4日開催

協議・報告事項

◆平取町公営塾運営事業実施要領(案)について

事業が始まって6年になります
が、平取高校への入学者は減少し、登録生徒の塾利用状況も悪く、更には全体の予算への圧迫などの状況があります。その対策として、中学生は1万円程度の月謝を徴収することで、事業予算を抑えるとともに登録生徒の学習意欲を高めることを狙いとします。また、平取高校へ入学した生徒へは月謝を返還したい考えです。

Q 私聞いたところでは生徒が塾講師にどのように勉強すればよいのか相談しても、的確な指導がなく信頼関係が悪くなり通塾しなくなっている例があるようですが。

(金谷)

A 塾長が毎月教育委員会に運営状況や生徒の状況を報告に来て、必要であれば学校にも相談しております。(教育長)

Q 生徒に通塾してもらうには、塾のプラスの面も伝える努力が必要と思うかがか。

(千葉)

A 無料ということで登録はするけれど、実際はほとんど塾を利用しない生徒が多数いるということです。

(教育長)

Q 今提案して4月から1万円徴収するのは無理があるのでは。

(崎廣)

A 定例会までに再検討します。

※検討の結果、この案は先送りすることになりました。

(教育長)

◆債権管理基本方針の改訂について
前回改訂から5年が経過し、将来に向けて持続可能な健全財政運営に向け、方針を改訂します。

◆平取町国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険税は令和12年度の全道保険税統一に向けて2年ごとに改定を進めており、令和7年度は改定年度になります。

◆平取高校魅力化プロジェクト事業について

令和6年度から入学者の全国募集を行って町外から4名が入学しました。

たが、入学者は地元生徒を合わせ6名でした。令和7年度の入学者が10名を割ると募集停止となりますので、令和6年度は平取高校の魅力を高めるためにいろいろな策を講じてきました。今後も魅力化について検討して行く必要があります。現在、道外を含む町外からの志願者が男女合わせて10名を超えているので、現在の寮では部屋が不足するため改築等を進めています。

Q 町が所有する旧福地医院の改築を行い女子寮とし、男子寮は民間から町が借りている住宅をさらに改築する方向ですが、このまま寮生が増えるようだと新たに寮を建てなければならぬのでは。

(四戸)

A 委員ご指摘のとおり寮の新設が必要となりますので検討していきます。

(まちづくり課)



△女子寮(旧福地医院)

◆令和7年度使用料および手数料の改定について

この改定は令和元年度以来5年ぶりとなります。令和6年度行政改革審議会での検討の結果を受けての実施となります。職員住宅と教員住宅は6年間かけて改定するような激変緩和措置も取られています。手数料の改定はありません。

Q パークゴルフの年会費だけ1000円上げるのはなぜか。

(四戸)

A 会員は年会費で回数制限なくパークゴルフを楽しめますが、一般の方は1回当たり500円で、年会費にすると16回分です。パークゴルフ場の管理費も非常に高騰していることを考えての提案です。(町長)

◆自治体情報システムの標準化・共通化について

国が令和3年度から地方行政のデジタル化を推進するために「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」を施行しました。令和7年度がその実施年になります。住民票などの書式が統一され電子手続きで市町村窓口に出向く必要がなくなり、窓口業務職員が減員できるとい



△多目的機能型施設

う副次効果もあります。7000万円強の費用のうち600万円強が町負担となります。

◆行財政改革（DX推進）について

今後平取町は人口減少が進んでいき、役場職員の数も少なくなることが予測されることから、高齢化対応や福祉の充実のためデジタルを活用する必要があります。これらの情報戦略を進めるため、情報化推進計画の策定や情報戦略推進業務の委託などを予定しています。

◆平取町多目的機能型施設設置条例（案）について

◆平取町多目的機能型施設設置条例施行規則（案）について

◆平取町多目的機能型施設の管理に関する協定書（案）について

令和6年度アイヌ政策推進交付金の補正予算で建設される施設の設置条例ほかの原案が示されました。

◆「アイヌ工芸伝承館（ウレシパ）」の指定管理手続きの失念について

本館は平成31年に完成し（一社）びらとりウレシパを指定して管理させており、期間は5年間としていましたが、担当部局が失念し令和6年からの指定について議決を経ていませんでした。改めて令和7年度から5年間の指定を提案するものです。

Q 今後このようなことがないよう

に条例や契約の期限を確認する仕組みを役場庁舎内に置く必要があるのではないか。（崎廣）

A 「」指摘のとおりですので仕組

みづくりを進めます。（副町長）

3月4日開催

協議・報告事項

◆平取町スポーツ施設に関する条例の一部を改正する条例について

◆平取町開拓財産資料館条例の制定について

旧荷負小学校について「学校施設の転用に係る財産処分」を文部科学大臣に申請、受理されたことに伴い、体育館部分を平取町スポーツ施

設として活用できるように条例に加え、校舎部分を資料館として利用するための設置条例を制定するもの。

◆平取町多目的機能型施設設置条例（案）について

◆平取町多目的機能型施設設置条例施行規則（案）について

◆平取町多目的機能型施設の管理に関する協定書（案）について

2月4日開催の委員会で協議した際の意見等を盛り込み、再度（案）として示されました。

Q 利用料に短期利用と長期利用

の区分を設けているのは了解できる。しかし、冬期間にアイヌ文化関連利用者以外の利用を認める規定を設けると、混乱が生じて苦情が出ることになるのではないか。（崎廣）

A 冬期間はアイヌ関連施設の利

用も少なくなるので、一週間以内の申し込みに限って一般の利用を認め、稼働率を確保したい考えです。

（アイヌ施策推進課）

Q 国の補正予算で認められたが

3月末までに工事を終えなければならぬので、これらの条例等も押し迫っている感じが強く、まだ不備な

点も出てくるのでは。（千葉）

A 修正すべき点があれば修正をかけて疑義が生じない形で進めて参ります。（アイヌ施策推進課）

産業厚生常任委員会

2月14日開催

協議・報告事項

◆母子手帳アプリ「母子も」の導入について

切れ目ない支援を実施するためにアプリを導入します。令和7年度導入時の費用は無料で、令和8年度以降、初期費用が10〜30万円、使用料が月額2万円程度かかる見込みですが、利用者負担はありません。

Q 今まで町が実施してきた支援

にアプリがプラスされる考えでよいのか。（松澤）

A これまでの母子保健事業に加えて、アプリを導入する考えです。

（保健福祉課）

Q お子様緊急相談とあるが、ど

こが相談に乗ってくれるのか。

（木村）

A 相談窓口が北海道に設置されており、そこに電話をかけると、小児専門の看護師などが対応してくれます。
(保健福祉課)

◆令和6年度平取町介護人材確保に関する取組について

少子高齢化により介護を必要とする高齢者が増え、働き世代が減少するため、町内の介護事業所と官民一体になり、介護人材確保に5つの取組を推進しています。

Q 若い人材確保のため介護ICTを取り入れるべきと思いますが、平取福祉会はそのことについてどのように考えているのか。
(松澤)

A 平取福祉会も、機器導入には前向きな考えでいます。ただ費用面や主となる職員が必要となることから介護人材確保協議会等で検討していきます。
(保健福祉課)



△介護のみりよく
発見イベント in 平取町

◆二風谷福祉会（二風谷保育所）に対する支援について

入所児童の減少により厳しい運営が続いている二風谷福祉会では、7年度から特色のある保育所としてアイヌ語教育をカリキュラムに取り入れ、8年度からは保育留学を希望する児童を全国から受け入れることで入所児童の増加につなげます。アイヌ政策推進交付金を活用し、運営費の一部を支援したいと考えています。この取り組みによって、保育所から高校までアイヌ文化を学べる日本で唯一の環境が整います。



△二風谷保育所

◆腎臓機能障がい者の通院交通費の助成について

腎臓の機能に障がいがあり、人工透析療法を受けるために通院する方の経済的負担を更に軽減することを目的に、ハイヤー利用者への補助を

4分の3から9割に増額します。自家用車利用者にも規定により助成することも考えています。

Q 燃料代が変動した場合、補助率は変わるのか。
(中川)

A 扶助費全体の中で予算をやりくりし、その辺は柔軟に対応したいと思っています。
(町民課)

Q あくまでも人工透析療法を受けている方だけなのか。
(四戸)

A 例えば足が不自由な方で、重度障害者等ハイヤー料金給付事業を利用されている方にも、同じ割合を助成する考えです。
(町民課)

◆平取町起業化支援事業補助金交付要綱について

平取町における就業機会の拡大と地域経済の活性化を図ります。

Q 補助事業を受けた場合、実績報告も商工会経由で上げてもらう方法を取っては。
(高山・中川)

A 商工会に加入が条件なので必ず商工会で指導や確認ができる状況にあると思いますので、そこについては、商工会と協議させていただきます。
(観光商工課)

◆令和7年度使用料及び手数料の改定について（総務文教常任委員会での協議内容と同様）

使用料の改定については、令和元年度で一斉の見直しをして以来、5年ぶりの改定ということになります。手数料の改定はありません。

◆平取町農業支援センターの機能強化について

令和7年4月から、集落支援員制度を活用して、専門的な技術指導、相談業務を行う専門職員を配置していきたいと考えています。以前、日高農業改良普及センター西部支所に所属しており、本町農業を牽引した経緯がある人物であります。

Q 集落支援員にかかる費用は全額交付税措置されるのか。また何年契約となるのか。
(四戸)

A 支援員一人当たり485万円までは交付税措置されます。それをオーバーした分は町と農協で負担します。また、一年毎の契約更新となります。
(産業課)

審議した議案

第1回
臨時会令和7年
1月15日

▼工事請負契約の締結

・多目的機能型施設整備工事

契約者…楠・小林経常建設共同企業体

契約金額…2億4750万円

第2回
臨時会令和7年
1月29日

▼一般会計補正予算（第9号）

・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、住民税非課税世帯等に対する加算給付金（子ども一人2万円）、統合型GISシステム改修委託料、社会福祉施設等物価上昇軽減補助金、びらとり温泉ゆから施設燃料費高騰負担軽減支援金、飼料価格高騰緊急対策事業支援金、商工業小規模事業者物価高騰対策支援事業給付金ほか

1億5743万円を追加

第3回
定例会令和7年
3月5日
～13日

▼教育長の任命

まっただく
松田拓美氏（本町）の任命に同意しました。

▼条例の制定

・多目的機能型施設設置条例

・開拓財産資料館条例

旧荷負小学校について学校施設の転用に係る財産処分を文部科学大臣に申請、受理されたことに伴い、校舎部分を資料館として利用するための設置条例

▼条例の一部改正

・スポーツ施設に関する条例

スポーツ施設に「旧荷負小学校体育館」を加える改正

・国民健康保険税条例

・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

・産業医の報酬額の改正

・職員の勤務時間、休暇等に関する条例

・育児・介護休業法改正に伴う改正

・給水条例

水道法施行令改正に伴う改正

・重度心身障がい者及びひとり親家

庭等医療費の助成に関する条例

健康保険証の廃止に伴う改正

▼使用料の改定に伴い、次の条例の一部を改正

・道路占用料徴収条例

・建設機械貸付条例

・準用河川占用料徴収条例

・普通河川管理条例

・町民公園条例

・アイヌ工芸伝承館設置条例

▼公の施設に係る指定管理者の指定
アイヌ工芸伝承館ウレシパの指定
管理者に一般社団法人びらとりウレシパを指定

▼一般会計補正予算（第10号）

修繕料（振内支所浄化槽水中ポンプ更新及び屋内消火栓用非常電源バッテリー更新）、起業化支援対策補助金不足分増額、通信運搬費（郵送料）の引き上げに対応する増額ほか

2671万7000円を追加

●議員発議

▼議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

刑法の一部を改正する法律の施行に伴う改正

▼議会の仕組み▼

～議会について理解を深め、関心を持ってもらうために～⑦

特別委員会（とくべついいんかい）

特定の付議事件（案件）の審査、調査のため、議会の議決によりその都度設置される委員会。審議が終了すれば（案件について審議する内容がなくなれば）委員会は終了となります。平取町議会では以下の特別委員会を設置しています。

・アイヌ総合政策推進特別委員会～アイヌ文化を活かした総合的な政策の推進のため設置

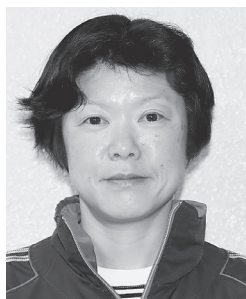
・予算審査特別委員会～当初予算について集中的に審議するために設置

（令和7年度予算を審議するために3月6日に設置し、3月13日に審議が終了したので終了 2、3ページ参照）

・決算審査特別委員会～町の決算について集中的に審議するために設置

～あの人に聞く～

平取高校にたずさわってくださっている 地域おこし協力隊の方にインタビュー！



平取高校学生
ハウスマスター
さとみ ゆい
里見 結子 さん

Q 出身地（前住所）はどちらですか。

A 生まれも育ちも札幌です。学生時代は学業よりもアイスホッケーに打ち込み、筆を持つよりスティックを握り、本を開くより筋力トレーニングに励む毎日でした。

Q 数ある自治体の中から「平取町」を選んでくださったポイントは何ですか。

A 20代半ばから20年程、新得町に住んでおり、十勝連峰、日高山脈に魅せられ山登りにのめり込みました。山の美しさ、偉大さには、人を清らかにし、励まし、逞しく正しく導く力があると思います。町を見守る幌尻岳、いつもエネルギーをもらっています。温暖で自然に恵まれ、そして力強い山並みに守られる町に魅力を感じました。千歳、札幌へのアクセスの良さも今後更に利点になるのでは。

Q 「平取町」に実際に来てみて（住んでみて）、まちの印象は？

A とにかく気候が良い。夏は暑すぎず朝晩は涼しい。冬は寒すぎず雪も少ない。春を告げる福寿草やフキノトウの目覚めの早いこと。たくさんのカケスたち、コウライキジは賑やかで、白鳥が季節を知らせに空を舞い、夏にはカマキリが窓辺に遊びに来る。なんと豊かな町だろうと感じています。

Q 最後に、今後の抱負をお聞かせください。

A 平取町に来て1年になりますが、1年目はアタフタするばかりで学生寮の事以外何も出来ませんでした。今後はハウスマスターとして学生生活のサポートをしながら、地域の人達とのコミュニケーションやイベントへの参加などにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。何より「高校生活を平取町で過ごせて良かった」とみんなが思ってくれるような笑顔あふれる学生寮の毎日を送れるよう努めていきたいと思っています。

Q 出身地（前住所）はどちらですか。

A 北海道岩見沢市

Q 数ある自治体の中から「平取町」を選んでくださったポイントは何ですか。

A 二拠点生活というものを考え始めた際に、まず頭をよぎったのが「雪の極力少ない所」でした。その上で、今までたずさわったコトのない業務での仕事内容と楽しみながら働ける環境を探していました。

Q 「平取町」に実際に来てみて（住んでみて）、まちの印象は？

A 正直「ないものを探す」といくらでも出てくるのですが、あるものに着目すると、いくらでも快適な生活ができる環境です。まだ移住してわからないコトばかりですが、どなたにあいさつしてもちゃんと返していただけるという環境がとても心地いいです。

Q 最後に、今後の抱負をお聞かせください。

A どこまでお役に立てるかわからないですが、数年後、ああ、この人が平取町にきてくれて助かったとか、この人が来たコトで楽しい毎日が送れたと言ってもらえるような活動をしたいと思っています。ニコニコと住んでいるみなさんが笑顔で生活できる環境を提供できるようにまちづくりにかかわってきたいと思っています。町民の皆さまの力を貸していただきたいです。よろしくお願いします！！



平取高校魅力化
コーディネーター
とさ ちはる
土佐 千春 さん